



# みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年9月22日No.42

文:岡本勇人



## 三朝町立三朝中学校 学校だより

暑さ寒さも彼岸まで。「冬の寒さ(余寒)は春分頃(3月21日)まで、夏の暑さ(残暑)は秋分(9月23日)までには和らぎ、凌(しの)ぎやすくなる」という意味の、日本の慣用句とのこと。すでに彼岸入りしていますが、過ごしやすい気象状況かという疑問が残ります。

欧州連合(EU)の気象情報機関によれば、「7月6日には世界の平均気温が17.08℃と過去最高を更新。2023年7月の世界の平均気温は16.95℃と、これまででもっとも高かった2019年7月の16.63℃を上回り、観測史上もっとも暑い月となったことが明らかとなった」とのこと。

また、国連のアントニオ・グテーレス事務総長曰く、「世界の平均気温が観測史上もっとも高くなるとの見通しを受けて、「地球温暖化の時代は終わり、地球が沸騰する時代が到来した」と警告した。」(7/27)

私たちが考えたい・実践したいこれからの気候変動の対策は、政府や企業だけに任せるのではなく、私たちが「自分ごと」ととらえて個人レベルで行うことも大切です。

これに限らず何事も、いかに「自分ごと」とできるかどうかです。

※ 次ページに CO<sup>2</sup>の排出量を減らすアクションを掲載しました。いずれもすぐ実践できる身近なものばかりです。何から始めればいいのか迷った方は、ぜひ参考に見てください。

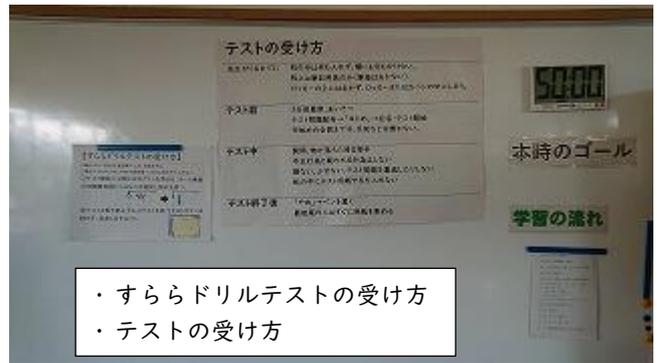
「みのりある学び」×「最適な環境」×「休み明けテスト」

### ◆ テストの受け方

すららドリル(クラウド型のアダプティブラーニング教材 参考:[https://surala.jp/school/surala\\_drill/](https://surala.jp/school/surala_drill/))+タブレット端末を活用し、生徒は学校・家庭に関わらず、いつでもどこでも学習することができる環境を整えています。日々の授業は、新しいことを学ぶことが主ですが、そこに至るまでに学習したことを活用する必要があります。自分自身の課題発見にもつながるので、すららドリルをもっと活用して欲しいです。英語検定対策もできるし、小学校低学年~高校3年生までの内容が学習できます。

長期休業中は、新しいことを学ぶことよりも過去に学んだことを振り返るための時期でもあります。す

ららドリル(休み明け)テストは、自身の課題発見のために実施しました。今一度、学習における"現在地=●学年"を確認しましょう。

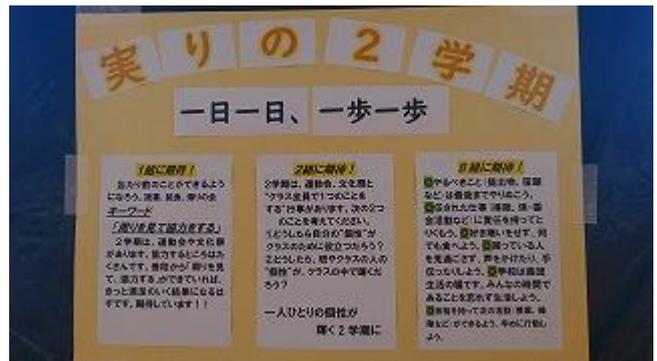


「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「学校行事」

### ◆ 実りの2学期

「●●に期待」とあり、現状からの"伸び幅"の期待値が具体的に提示されています。「一日一日、一步一步」の言葉とみように合致している気がするの、私だけでしょうか。

ちなみに、「一日一歩 三日で三歩 三歩進んで二歩さがる♪」というフレーズを思い出したのも私だけでしょうか。(ある年代以上の方にとっては…)



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「学校教育」×「●●力」

### ◆ 地域の方からの…から学ぶ。あたたかい家庭が基本!我が子はどうか!!が大切です

「中学生の自転車の乗り方が良くない。丁字路を斜め横断・右側通行していた。事故にあってからでは遅いので電話した。」➡ご連絡をいただいたことに感謝し、昼の放送で交通安全に関する講和をし、次の日の同じ時間、教員が現場確認しました。

一例ですが、地域の方から学校に電話があれば、その場での謝罪及び現場確認後の個別指導・全校指導を行います。

さて、このような事案は「学校教育(だけ)の責任」でしょうか。

このような内容を掲載するには、かなりの勇気や覚悟が必要です。しかし、保護者・ご家族のみなさまを責めているわけではありません。

生徒の安全を守り、より良く成長させるためには学校教育だけでなく、地域・保護者・ご家族のみなさまの教育力・安全意識等をさらに向上させることが不可欠であると常々考えています。

それぞれの立場で一人の子どもの成長を見守るみんなが、この事案を自分事として受け止め、今一度、これまでの家庭教育等を振り返り、今後、親・家族として子どもに対して何ができるか、子どもに何を伝えるのかを考え、行動していただきたいと願っています。

共に子どもを育てる者・幸せを真剣に願う者・見守る者としてのお願いです。



9/7(木)6:26 横手・山田地区は濃霧でした



9/26(火)刈り草・折れ枝置き場建設中です

-----  
[CO<sup>2</sup>の排出量を減らすアクション]

- ・ エコバッグやマイボトルを持ち歩く
- ・ できるだけ自動車に乗らない(バスや電車などの公共機関を利用・自転車に乗る)
- ・ 使わないコンセント・プラグは抜く
- ・ エネルギー効率を高める(省エネ家電・LED 電球に変える)
- ・ 水の無駄づかいを減らす
- ・ リデュース・リユース・リサイクルの実践
- ・ 持続可能な食材を選ぶ(地産地消・植物性の食材)
- ・ 植林・森林保護の支援
- ・ 環境保全についての知識を深める

出典: <https://elemminist.com/article/2846>

- 
- ◆ 今回の「学校だより」は、9月22日発行予定で作成したものです。